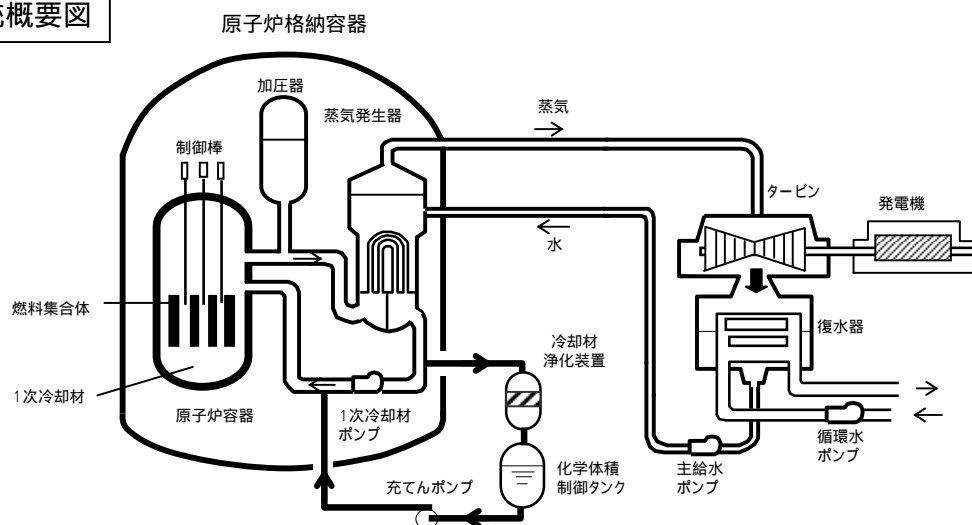


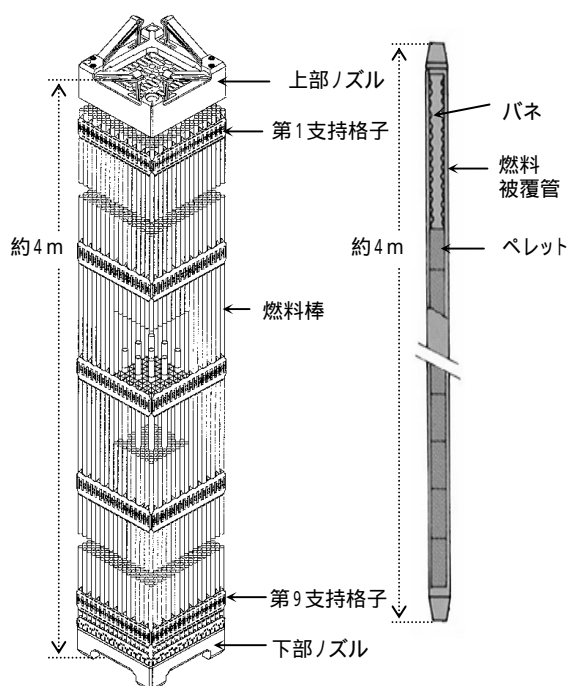
大飯発電所2号機の燃料集合体漏えいに係る調査状況(続報)について

系統概要図



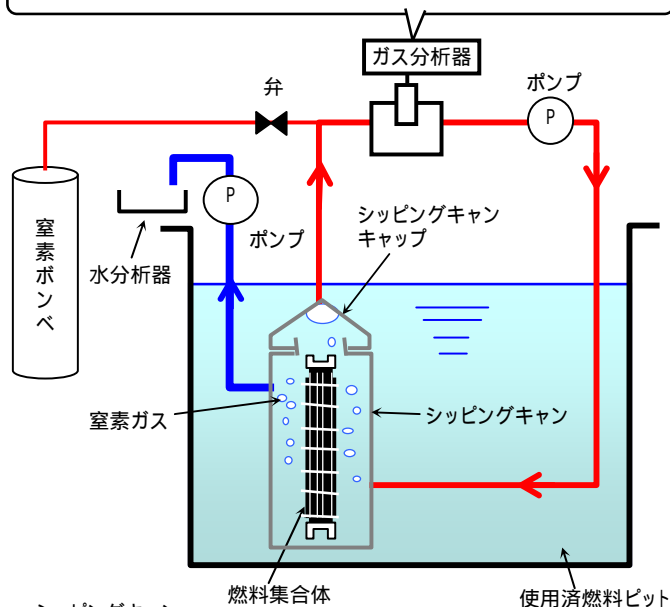
燃料集合体概要図

燃料棒



燃料集合体 SHIPPING 検査結果の概要

2体の燃料集合体に漏えいが発生していることが判明



： SHIPPING キャン
燃料集合体を使用済燃料ピット水から遮断し、燃料集合体の温度を若干上昇させ、漏えい燃料棒から核分裂生成物の放出を促すためのもの

【燃料集合体の仕様】

燃料タイプ: 17 × 17 型

全長: 約 4 m

全幅: 約 20 cm

支持格子数: 9 個

燃料被覆管材質: ジルカロイ - 4¹ または
ジルコニウム基合金²

燃料被覆管外径: 約 10 mm

燃料被覆管肉厚: 約 0.6 mm

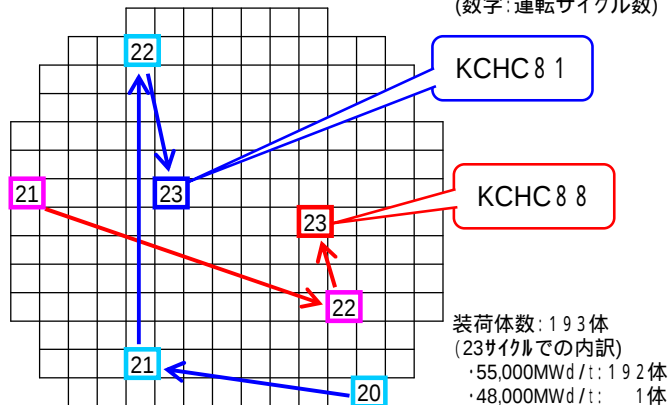
燃料棒の本数 : 264 本

1: 最高燃焼度 48,000 MWd/t の燃料

2: 最高燃焼度 55,000 MWd/t の燃料

漏えい燃料集合体が装荷
されていた原子炉内の位置

□ □ : 漏えい燃料集合体
(数字: 運転サイクル数)



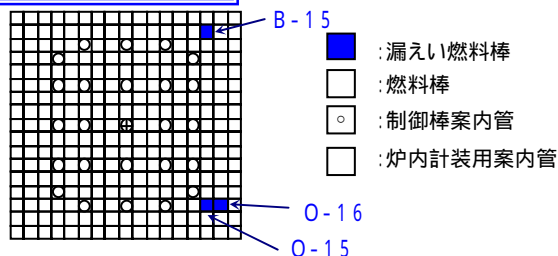
装荷体数: 193 体
(23 サイクルでの内訳)
・ 55,000 MWd/t: 192 体
・ 48,000 MWd/t: 1 体

漏えい燃料集合体および燃料棒の調査結果

○ 超音波による調査結果

KCHC81

漏えい燃料棒3本を確認



KCHC88

漏えい燃料棒1本を確認



○ 漏えい燃料棒のファイバースコープによる調査結果

KCHC81の調査結果

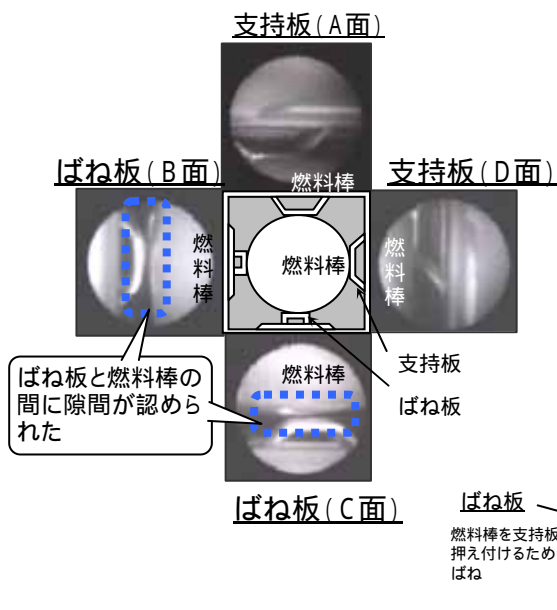
3本の燃料棒には、燃料棒と支持板またはばね板との間に隙間が見られた。

KCHC88の調査結果

明らかな隙間等は認められなかった。

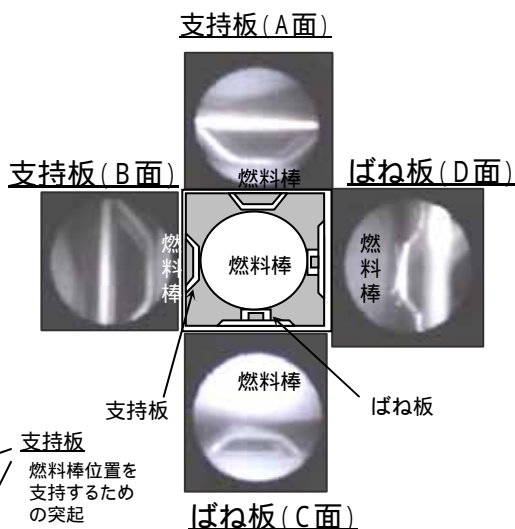
KCHC81

燃料棒第9支持格子部の写真(O-15の例)



KCHC88

燃料棒第9支持格子部の写真



燃料棒表面外観観察の結果

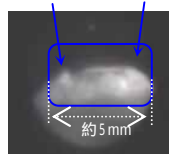
KCHC81 O-15 第1支持格子下のC面の写真

< 上方視 >

異常なしの外観例



被覆管の膨れ

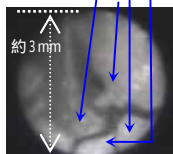


< 側方視 >

異常なしの外観例



クラッドのめくれ



燃料棒側面図

